

高次脳機能障がい者と家族を支援する

NPO 法人福岡・翼の会と

地域活動支援センター「翼」のご紹介

NPO法人福岡・翼の会

理事長 小野 裕 樹（弁護士）

1 「福岡・翼の会」の歴史と特徴

私たちは、高次脳機能障がい者に対する社会的な認知も行政の支援もなかった平成12年から、高次脳機能障がい者とその家族を支援する活動を続けてきました。平成18年には、福岡市をはじめとする多くの支援者のお力により、私たちの念願であった、九州で初めての高次脳機能障がい者のための作業所として、福岡市小規模作業所「翼」が誕生しました。その後、運営主体の解散により、「翼」を存続させるために作ったのが、NPO 法人福岡・翼の会です。それにともない、「翼」は地域活動支援センターとなりました。

福岡・翼の会は、福岡県の高次脳機能障がい者の支援に長年携わってきた実績に加え、専門性を特徴としています。高次脳機能障がい者の支援には、医療、リハビリ、福祉、法律などさまざまな専門分野が関わり、各分野の専門家の参加が必要ですが、当 NPO は、高次脳機能障がい者の事案を数多く担当してきた弁護士が理事長をつとめ、精神科医、臨床心理士、言語聴覚士など、高次脳機能障がい者の治療・リハビリに豊富な経験を持つ専門家が理事として参加して、それぞれの専門的知見を活動に生かしています。

2 地域活動支援センター「翼」の活動内容

「福岡・翼の会」が運営する地域活動支援センター（Ⅱ型）である「翼」は、福岡市心身障がい福祉センター（あいあいセンター）の隣のビルにあります。

「翼」では、高次脳機能障がい者の社会参加を支援するために、受託作業のほか、